

栃木県がん・生殖医療ネットワーク
会員医療機関の長 様
栃木県がん診療連携協議会
会員医療機関等の長 様

栃木県がん・生殖医療ネットワーク代表 (那須赤十字病院院長)
白石 悟
栃木県がん診療連携協議会会長 (栃木県立がんセンター理事長)
菱沼 正一

令和 3 年度がん相談支援研修会の開催について

思春期・若年成人 (AYA) 世代等のがん患者は、がん治療によって、妊娠するために必要な力 (妊孕性) が失われてしまうことがあることから、将来子どもを持つことを望むがん患者が、正確な情報や心理的な支援を受けられる環境の整備が求められています。

本県では、令和元年度に「栃木県がん・生殖医療ネットワーク」が設立され、がん治療実施機関と生殖医療実施機関が連携して、情報提供及び普及啓発の取組を進めております。また、今年度は、県において妊孕性温存治療への助成制度 (栃木県小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業) が開始され、妊孕性に関する相談支援を行う機会の増大が想定される所です。

そこで、今年度は、「がんと診断された時から始まる妊孕性温存支援」をテーマに「がん相談支援研修会」を開催することとしました。がん相談支援センター等で相談支援に携わる方をはじめ、幅広い職種の方に、妊孕性温存について学びを深めていただきたく、御案内いたします。

つきましては、貴所属担当職員の参加について、御配慮いただくようお願いいたします。

なお、参加申込みについては、別紙様式により、令和 3 (2021) 年 8 月 31 日 (火) までに、担当宛てメール又は F A X にて御連絡ください。

記

- 1 日 時 令和 3 (2021) 年 9 月 10 日 (金) 18 時 00 分～19 時 30 分
- 2 開催方法 オンラインによる開催 (Zoom 利用)
- 3 対 象 者 がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センターがん専門相談員
がん治療や生殖医療に携わる看護師、臨床心理士等医療従事者
市町及び健康福祉センターの担当者 等
- 4 定 員 50 名
- 5 内 容
講義
テーマ：「がんと診断された時から始まる妊孕性温存支援」
～相談事例から妊孕性温存への支援を考える～
講 師：獨協医科大学埼玉医療センターリプロダクションセンター研究員
公認心理師 がん・生殖医療専門心理士 小泉 智恵 先生
- 6 その他
参加者には、後日、Zoom のミーティング URL、ID 及びパスコードをメールにて御連絡いたします。

栃木県立がんセンター経営企画室
担当：早乙女、北山
TEL：028-658-5151 (内線 2173)
FAX：028-658-5297
E-mail：tkitayam@tochigi-cc.jp